



卒業特別号

至誠の泉

甲斐市立双葉中学校
学校だより
発行 校長 輿石 信
令和5年度 第15号
2024.3.10

朝出勤し、校長室の窓越しに外の景色を見ることから一日が始まります。窓から入る日差しも少しずつ温かく感じられるようになりました。春の足音が聞こえてきます。
今日は3月10日。いよいよ明日は、卒業式です。



○ 卒業生の皆さんへ

「卒業」のことを、英語で、「コメンズメント(commencement)」と言います。もともとは、「はじめ」とか「はじまり」という意味の単語です。卒業は、ひとつの「終わり」と同時に、新しい「はじまり」です。147名の卒業生それぞれが新たな自分づくりのスタートラインに立ちます。卒業生には、将来の夢や職業について、「私・自分」といった視点からだけでなく、「私たち・自分たち」を取り巻く、家族や地域、社会全体を住みやすいものにしていくといった視点からも、夢や目標を掲げてほしいと思います。そして、お金や名声といった自分の欲を満たすだけでなく、自分と異なる価値観をもつ人を受け入れる寛大さや、目に見えないものに思いを馳せる豊かな想像力、手垢のついたものの見方に囚われない瑞々しい感性、考えたことを行動に移していく若者らしい実行力、失敗を恐れぬ挑戦者としての態度など。これからの社会を担う皆さんに大いに期待しています。

私の好きな俳句に、「春風や 闘志いだきて 丘に立つ」(高浜虚子)があります。

息を切らしながら駆け上り、小高い丘の上に立つ。広がる景色に未来を思う。その時に穏やかな春風。「ああ、春の風だ」という感動。その感動に包まれながら、ふつふつと身体の内側から湧き起こる感慨。それが「闘志」です。「闘志を抱いて丘に上った」のではなく、眼下を一望し、春の風に命を与えられて生まれた気持ちが「闘志」です。「春風や」という詠嘆が「闘志いだきて丘に立つ」という自分の姿の発見につながっています。「丘」の存在も重要です。小高い丘の上からの眺望が未来に立ち向かう思い、「闘志」をもたらしているからです。丘の上で生まれ春風に育まれる思いは未来に向けてのものでしょうか、それが希望や夢ではなく、「闘志」であるところが、私の好きな理由です。

夢や目標は掲げたから実現するものではありません。それこそ、「闘志」という言葉のとおり、立ち向かっていってこそ叶うものです。難しいからこそ夢であり目標です。ですから、実現させるためには少しくらいのことにはへこたれずに歯を食いしばってでも向かっていく気持ち、「闘志」をもって、夢・目標に挑んでください。皆さん一人一人の新しいステージでのチャレンジを心から応援しています。

私から、皆さんに、最後のお願いがあります。明日は、中学校最後の登校日となります。ぜひ、一人一人が、堂々とした態度で式に臨んでください。私も、一人一人に心を込めて卒業証書を渡したいと思います。卒業式で、楽しみしていることがあります。それは、第2部での皆さんの呼びかけと合唱です。15歳に成長した立派な姿、様々な人への感謝、新しい旅立ちへの決意、そうした諸々の思いを、態度と、言葉と、声で、全力で、届けてください。

○ 卒業生の保護者の皆様へ

お子様のご卒業おめでとうございます。思春期の一番難しい時期である3年間は大変なご苦労があったと思います。無事に卒業まで子供と共に歩んで来られたことに心から敬意を表します。まだまだ子供たちは成長の過程です。失敗もあれば挫折もあることと思います。今後も、温かく、時に厳しく関わりながら育てていただくことをお願いします。

さて、本年度は、新型コロナが5類に移行し、多くの行事を実施することができました。保護者の方の参観の機会が増えました。生徒や先生たちの姿をたくさん見ていただけたことは本当にうれしいことでした。また、行事の後にいただいた、多くの心温まる感想や激励の言葉は、私たち教師の明日への大きな原動力となりました。

1年間の学校経営にあたり、その都度、子供たちのことを考え、よりよい判断や対応をしてきたつもりですが、不十分なところや配慮が行き届かなかった点多々あったことと思います。1年を振り返り、改めて、「学校は保護者の皆様に支えられてある」ことを実感しています。

最後まで、お願いばかりになりますが、今後は、双葉中の「保護者OB」として、地域の学校である「双葉中」を温かく見守っていただけたら幸いです。本当に1年間ありがとうございました。

○ 在校生の皆さんへ



最後に、在校生の皆さん。明日で先輩たちともお別れです。卒業生のみごとな活躍やリーダーシップをしっかりと受け継ぎ、4月から皆さん一人一人のもっている力を出し合って、さらに素晴らしい双葉中の伝統や校風づくりに力を発揮してくれることを大いに期待しています。双葉中の物語の続きを作っていくのは君たちです。

2024.3.10 輿石 信